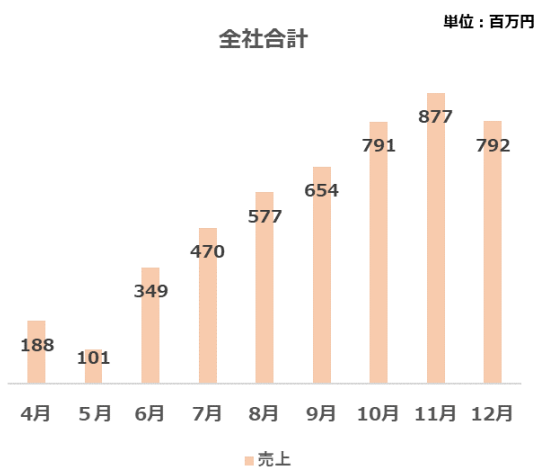


各位

会社名 株式会社ひらまつ
 代表者名 代表取締役社長兼CEO 遠藤 久
 (コード番号 2764 東証一部)
 問合せ先 取締役 CFO 北島 英樹
 (TEL: 03 - 5793 - 8818)

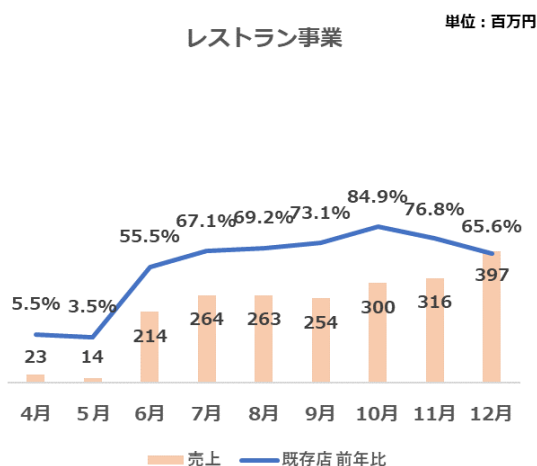
月次速報(単体)に関するお知らせ

2020年12月度の月次業績(単体)速報について、以下のとおりお知らせいたします。



全社合計

レストランの一番の繁忙期となる12月度は、引き続きコロナ感染第3波の影響を受けつつも、安全基準「ひらまつスタンダード」の強化徹底に加え、クリスマスや年末に向けた各種施策が奏功し、レストラン事業においては、先月に続き今期における単月最高売上を達成しました。ホテル事業においても、国内旅行回帰の流れの中、前月に続き各ホテルとも好調に推移し、前年の約1.5倍の宿泊売上を記録しております。また、ブライダル事業においては、春から延期となった婚礼実施を含め、前年比7割弱の実施組数となりましたが、新規のお客様において2021年春以降秋までを中心にした婚礼の契約が増えてきております。

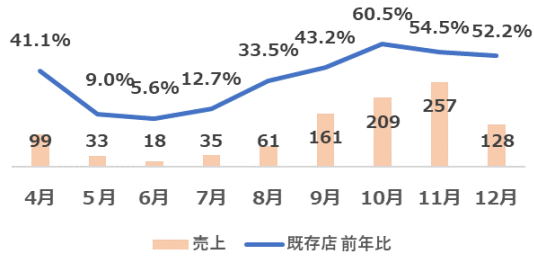


レストラン事業

クリスマスや年末の利用増加にて、12月度は今期における単月最高売上を達成しました。徹底したコロナ感染防止策としてテーブル数の削減や来店人数の制限を実施したことにより、前年に比べ来店客は減少しましたが、クリスマスメニューの長期提供、高価格帯クリスマスデリバリーやおせちの販売を積極的に行い、売上はもちろんのこと認知度向上に大きく貢献しました。コロナ第3波によりGo Toキャンペーンの利用低下が伺えますが、Go To Eat キャンペーン利用のオンライン飲食予約サイトからの予約は前年の110%を超えるなど、12月の売上獲得において好影響となりました。

ブライダル事業

単位：百万円



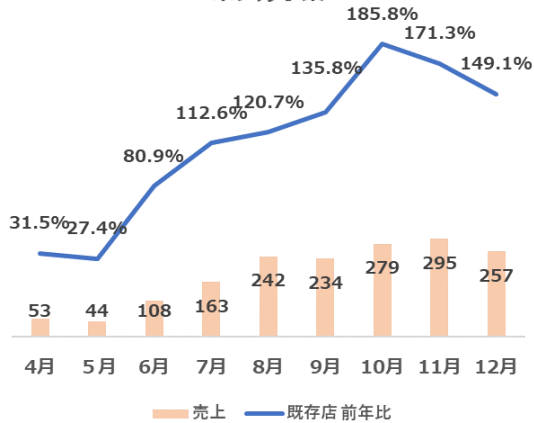
ブライダル事業

12月度は、春からの延期となった婚礼実施を含め、前年比7割弱の実施組数となりました。売上の減少は、組数減に加え招待客数減の影響によるものとなります。実施婚礼においては、コロナ禍における安全対策「ひらまつスタンダード」をしっかりと講じたことにより、ゲストから「安心感があった」という声も寄せられ、満足度向上に繋がっております。

また新規検討のお客様の動向は、12月後半に感染者数が増え始めるとともに、回復基調にあった見学数にブレーキがかかる一方、「ひらまつスタンダード」の取組みに加え、コロナ禍におけるウェディングスタイルを1組1組プランニングする細やかな対応がご評価を得て、2021年春以降秋までを中心にした婚礼の契約が増えてきております。

ホテル事業

単位：百万円



ホテル事業

前月に引き続き、各ホテルともに好調に推移いたしました。年末28日からのGo Toトラベル停止による直前キャンセルの影響が若干ありましたが、12月期においても前年の約1.5倍の客室売上を記録いたしました。

各ホテルの状況といたしましては、前月と同様に仙石原および宜野座が、12月として過去最高の稼働率を記録いたしました。また、賢島、熱海、奈良桜井においても引き続き高稼働を維持しております。

コロナ禍において国内旅行回帰の流れが続く中、「ひらまつスタンダード」の強化徹底を図り、お客様に「安心」「安全」を感じていただくことで、国内旅行需要の取込みを強化してまいります。

注) 1. 各数値につきましては、速報値のため確定値と異なることがあります。

(監査法人の監査は受けておりません)

2. 上記数値は株式会社ひらまつ単体の数値であり、連結数値ではありません。
3. 各月の数値は百万円未満を四捨五入しております。
4. 開業より15か月経過した店舗を既存店とします。

※2019年4月に開業した「カフェ&トラットリアミケランジェロ広尾」は2020年6月からレストラン事業の既存店に含んでおります。

※2020年11月に閉店した「ブラスリー ポール・ボキューズ博多」、2020年12月に閉店した「レストランテ オルケストラータ」は2020年12月からレストラン事業の既存店に含んでおりません。

※2020年3月に開業した「THE HIRAMATSU 京都」はホテル事業の既存店に含まれておりません。

以上